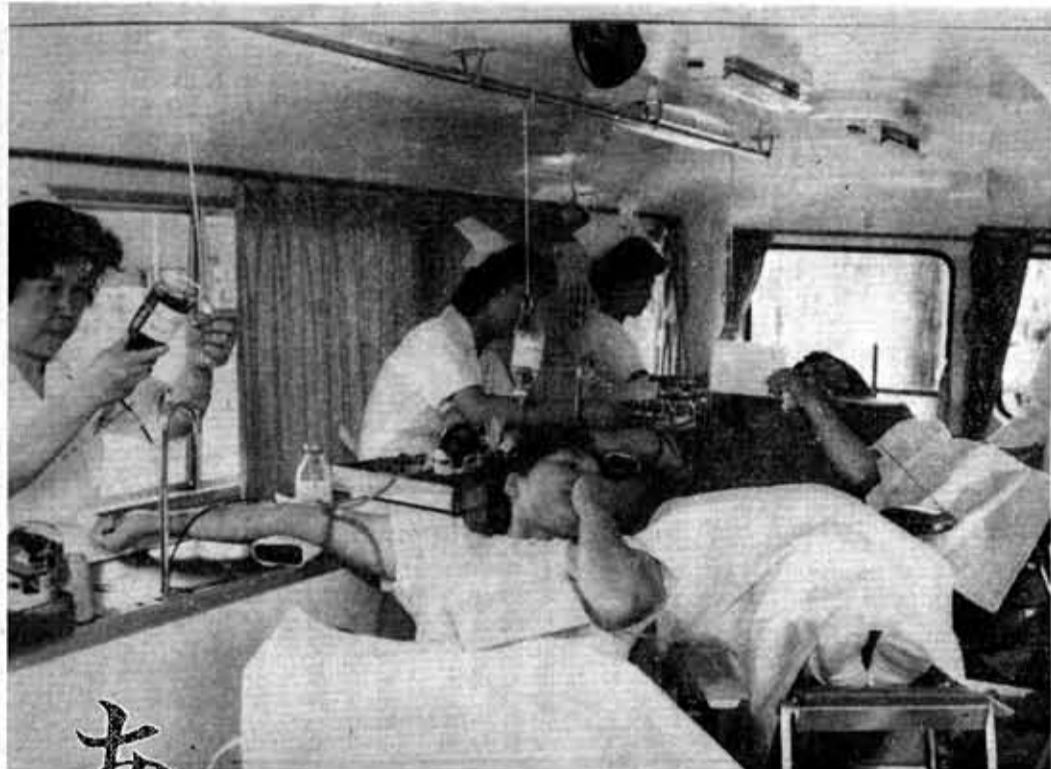


まちのうごき

(7月1日現在)	(6月中)	
世帯数 14,501世帯	生れた人 94人	
人口 48,638人	亡くなった人 16人	
男 24,146人	転入した人 351人	
女 24,492人	転出した人 243人	



あなたも一度は

献

血

血液に代用品はない

近代医学が急速に進んだ今日、各国の学者が血液にかわるものがないかと研究していますが、まだできていません。血液の機能を完全に代行できるような人工血液は、今のところむずかしいとされています。それほど血液は複雑で神

秘で貴重なものなのです。私たちが健康であるときは血液の存在すら忘れていません。しかし、「手術だ、交通事故だ」と一たび血液が必要になった時、痛切に感じ、あわてるのです。それは血液がなくなるとにも代えがたいものなのです。

血液は、いま献血によってのみ支えられているのです。献血思想の徹底を

市における組織的な献血運動は、昭和四十五年五月

乙訓郡献血推進協議会が設置されてからですが、各組織団体の代表者が構成する実行委員と、更に地域への献血思想の徹底をはかるため設置された奉仕員(昭和四十七年五月)の方々の努力により、しだいに実績をあげてきました。

百十五人と毎年順調にふえてきています。そして昨年度は九百五十四人で、採血本数も八百四十八本(一本は二百CC)でした。

特別献血のお知らせ

▼とき 8月3日(水)
午前10時~午後3時30分
▼ところ 寺戸公民館

ぜひ知っておきたい

献血

血液は人間が生まれてから死ぬまで一秒たりとも休むことなくわたしたちの体を支え、この血液が失われると人間は生命を維持することが全く不可能であります。もし不幸にして、自分自身血液が必要となった場合どうしたらよいか、そのためにも血液についてもう一度考えてみる必要があるのではないのでしょうか。

八月は「乙訓献血推進強化月間」です。

できる人は

- ・年齢が満16歳から満64歳までの人
- ・体重が男子45キログラム以上、女子40キログラム以上の人
- ・最高血圧が一〇〇mmHG以上の人
- ・血液比重が一・〇五二以上の人
- ・前回の採血から一カ月以上経過している人

献血された血液は

献血された血液は、一本ごとにすべて、血液型(A、B、O、RH式)検査、肝臓機能検査、オーストラリア抗原検査、梅毒検査などを抗原検査、手術の大小により血液は、手術の大小により

行って健康な血液であるかどうかを調べます。もし異常が認められた場合には、ただちに献血者に連絡されます。検査して良質な血液は保存血液やその他の製剤として四~六℃の冷蔵庫に貯えておき、必要とき患者の血液型と同じ血液型の血液を病院に届け輸血に使われます。

京都府赤十字血液センター(京都市東山区三十三間堂通り町六四四)では、土日を除く毎日、午前九時から午後四時三十分まで(土曜日は午前十一時三十分)受付しています。市においては、移動採血車が年間十回程度、市内の事業所、区事務所などを巡回しています。

<別表>手術に必要な血液量

手術	出血量	輸血量
心臓手術	565~1,845	700~1,500
人工心肺	1,600	1,500~6,000
脳手術	800~2,800	800~3,300
胃全摘術(胃ガン)	127~1,600	300~1,800

ご存じですか

献血に協力された方には、献血・町内・または行政区内より供給手帳が交付されますが、市においでするわけですが、家族内でひとりでは、市民の方に必要な血液の円も献血されていない家庭(老人・滑な需給調整をはかるため、献血ことものみの家庭は除く)は供給手帳は市献血推進実行委員会事務局(市保健予防課)において、お預かりして預かりして

受血共済制度とは

は、お預かりした献血手帳を行政区別に分けて保管し、出し入れをチェックし、献血者本人または家族が手術などで血液を必要とするときは申し出により必要量を供給します。必要本数により、家族内

健康を守るためと相互

快適な都市環境は下水道から

今日、大都市周辺の河川ばかりでなく、湖沼から海まで、わたしたちのまわりでは、水の汚れが進んでいます。このため、市では、住民の生活環境を守るため下水道施設の整備に取り組んでいます。下水道はいまでは、快適な都市環境をつかっていくうえで不可欠な施設の一つです。

市の下水道工事は昭和49年度に着工し、昨年度までに約1億2000万円の事業費を投じ、幹線延長約384メートル(管径400ミリメートル~1,000ミリメートル)を敷設しました。

本年度からは、従来の幹線工事に新たに枝線工事(面的工事)が加わり、森本町の一部で行っていくことになりました。

今後、下水道事業を進めていくには、534ヘクタールの地域で、約84億円もの莫大な建設費を必要としています。このように、下水道事業には多額の費用と長い年月を必要としますので、一日も早く下水道が整備されるよう市民のみなさんのご理解とご協力をお願いします。



進む幹線工事—森本